

蘭越町 Zero Carbon Report



蘭越町Zero Carbon Report+創刊号

近年の急激な気候変動等の現象は、産業革命以降に排出された二酸化炭素が関係していることに疑う余地が無いとされています。現在、地球全体が1つになって、二酸化炭素の削減を目指しています。蘭越町Zero Carbon Reportでは、蘭越町の取組や、1でも多くの人にゼロカーボンの必要性について理解してもらうことを目的に発行します。



ゼロカーボンとは

カーボンは、二酸化炭素のことで、2050年までに、人間の活動によって排出される二酸化炭素と、森林などの自然界に吸収される二酸化炭素の量が等しくなる目標のこと!



蘭越町の現状は

令和2年度は3万6千トンの二酸化炭素を排出しています。排出量について、分野別に見ると、蘭越町は、北海道全体や全国と比べて、家庭部門と運輸部門で多く排出しています。

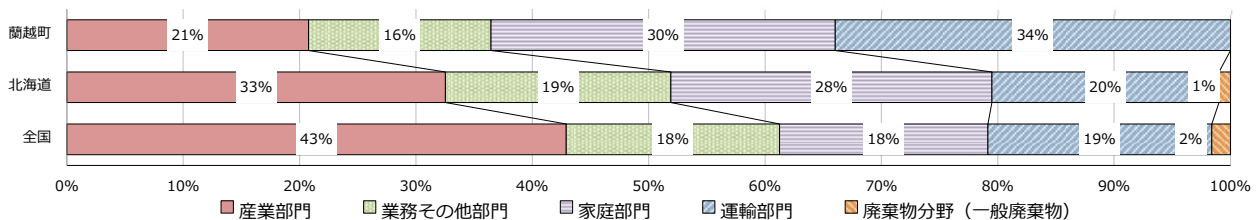


図 令和2年度、蘭越町・北海道・全国における部門・分野別の排出割合 (環境省自治体排出量カルテより)

蘭越町の森林の二酸化炭素吸収量はおよそ3万1千トンで、排出量は1万1千トンです。よって、およそ、毎年2万トンの二酸化炭素が森林によって吸収されています (蘭越町気候変動対策係調べ)。よって、目標達成には1万6千トンを減らす必要があります。

蘭越町 Zero Carbon Report



二酸化炭素を減らす体制づくり

蘭越町でカーボンニュートラル達成のために、約1万6千トンの二酸化炭素を減らす必要があります（気候変動対策係調べ）。このことは、極めて専門性の高い知識を必要とすることから、官民で取り組むこととし、9月に民間企業と地域包括連携に関する協定を締結しました。



左 (株)エックス都市研究所 大野 眞里会長
右 蘭越町長 金 秀行



蘭越町のカーボンニュートラルに向けたロードマップ

2050年までにどのようにして二酸化炭素の収支をゼロにするか、目標に向けたロードマップづくりについて12月末の完成を目途に進めています。



ゼロカーボンアクション30

地域における「暮らし」「社会」を中心に、生活者目線でカーボンニュートラルを達成するための30項目のアクションと暮らしへのメリットを示したものです。「ゼロカーボンアクション30」で検索して、調べてみよう!

